

事業箇所評価基準表

21	県事業
事業名	県代行事業(市町村道路整備)
担当部課室	土木部 道路課

評価軸	評価項目	評価指標	ウェイト
必要性	交通ネットワーク特性	国道等と連絡して幹線道路網を形成している、あるいは緊急時等において国道の代替え機能を有している	5.1
		空港、鉄道駅、高規格道路IC等の各種公共施設へのアクセス道路となっている	3.1
		市町村間の連絡道路になっている	2.8
		バス路線になっている	1.7
	地域振興の支援	通過交通を市街地から分離する効果がある	2.6
		市町村内において、市街地間あるいは集落間を結ぶ道路である	6.0
		沿線に医療福祉施設、公園運動施設、観光地、保養地、工場、商店街がある	6.7
		事業が市町村総合計画等の地域プロジェクトに繰り込まれている	6.4
	安全性の確保	通学路、防災・震災点検箇所、緊急輸送路、事故多発箇所である	4.7
		緊急自動車の走行改善が図られる、あるいは到着時間が短縮される	6.7
有効性	整備効果	時間短縮、交通量の増大、渋滞の解消が図られる	1.6
		歩道の新設、最急勾配、最小曲線半径の改善により、安全性の向上が図られる	1.5
		河川・山地での分断が解消され地域振興が図られる	2.6
	技術的難易度	橋梁、トンネル等難度の高い構造物が含まれる、あるいは大規模土工が含まれる	5.5
	全体事業費	全体事業費規模が大きい(5億円～10億円以上)	3.6
	過疎地域指定要件	過疎地域指定の人口要件(人口減少率、高齢者比率、若年者比率)に複数該当している	8.2
	財政力	財政力指数が低い(0.2～0.42以下)	9.0
	市町村道改良率	市町村道の改良率が県平均に対して低い	4.2
効率性	関連事業	高規格道路、河川改修、ほ場整備、区画整理等の他事業と関連して整備を行う	3.0
	地元の協力体制	地元理解、用地等の協力体制が整っている、また、地元の関係機関との調整が既に整っている	7.8
	計画協議の状況	事前の調査設計が完了し、各種協議や法指定手続きも完了している	3.9
	整備計画(創意工夫の取り組み)	道路整備計画の作成にあたって、住民参加型、リサイクル、コスト縮減に積極的に取り組む計画である	3.3
合 計			100.0

1 事業箇所ごとの評点は、評価指標ごとの配点に評価指標ごとのウェイトを掛け合わせて求められる評価指標ごとの得点をすべて足し合わせた合計点です。

2 この基準表は、土木部用です。